

1. 連結決算概要

連結

2020年10月29日
三菱電機株式会社

2020年度 第2四半期 連結決算概要

(1) 第2四半期累計期間

(単位:億円)

摘 要	前年度 第2四半期累計 A 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当年度 第2四半期累計 B 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	前年同期比	
			B-A	B/A(%)
売上高	21,825	19,020	△2,805	87
営業利益	1,142	613	△528	54
税引前 四半期純利益	1,240	756	△483	61
親会社株主に帰属する 四半期純利益	912	482	△430	53
基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期純利益	42円54銭	22円48銭	△20円06銭	53

(2) 第2四半期

(単位:億円)

摘 要	前年度 第2四半期 A 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日	当年度 第2四半期 B 自 2020年7月 1日 至 2020年9月30日	前年同期比	
			B-A	B/A(%)
売上高	11,317	10,438	△878	92
営業利益	593	411	△181	69
税引前 四半期純利益	642	485	△157	76
親会社株主に帰属する 四半期純利益	484	303	△181	63
基本的1株当たり 親会社株主に帰属する 四半期純利益	22円60銭	14円15銭	△8円45銭	63

(注) 1. 当社の連結財務諸表は、国際会計基準 (IFRS) に基づいて作成しています。
2. 連結子会社数は206社です。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

①第2四半期連結累計期間

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科 目	前年度 第2四半期累計 A 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日		当年度 第2四半期累計 B 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日		前年同期比	
		売上高比		売上高比	B-A	B/A
		%		%		%
売 上 高	2,182,528	100.0	1,902,024	100.0	△280,504	87
売 上 原 価	1,562,361	71.6	1,384,823	72.8	△177,538	89
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	506,870	23.2	456,533	24.0	△50,337	90
そ の 他 の 損 益 (△ 損 失)	933	0.0	686	0.0	△247	74
営 業 利 益	114,230	5.2	61,354	3.2	△52,876	54
金 融 収 益	5,988	0.3	5,651	0.3	△337	94
金 融 費 用	5,605	0.2	1,893	0.1	△3,712	34
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	9,409	0.4	10,574	0.6	1,165	112
税 引 前 四 半 期 純 利 益	124,022	5.7	75,686	4.0	△48,336	61
法 人 所 得 税 費 用	25,591	1.2	24,284	1.3	△1,307	95
四 半 期 純 利 益	98,431	4.5	51,402	2.7	△47,029	52
(四 半 期 純 利 益 の 帰 属)						
親 会 社 株 主 持 分	91,253	4.2	48,231	2.5	△43,022	53
非 支 配 持 分	7,178	0.3	3,171	0.2	△4,007	44

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科 目	前年度 第2四半期累計 A 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当年度 第2四半期累計 B 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	前年同期比 B - A
四 半 期 純 利 益	98,431	51,402	△47,029
その他の包括利益(△損失) (税効果調整後)			
[四半期純利益に振り替えられることのない項目]			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産の公正価値変動額	6,001	29,056	23,055
持分法によるその他の包括利益	△352	581	933
計	5,649	29,637	23,988
[四半期純利益に振り替えられる可能性のある項目]			
在外営業活動体の換算差額	△31,289	5,343	36,632
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△91	66	157
持分法によるその他の包括利益	△2,255	△1,429	826
計	△33,635	3,980	37,615
合 計	△27,986	33,617	61,603
四 半 期 包 括 利 益	70,445	85,019	14,574
(四半期包括利益の帰属)			
親 会 社 株 主 持 分	66,082	81,602	15,520
非 支 配 持 分	4,363	3,417	△946

②第2四半期連結会計期間
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科 目	前年度 第2四半期 A 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日		当年度 第2四半期 B 自 2020年7月 1日 至 2020年9月30日		前年同期比	
		売上高比		売上高比	B-A	B/A
		%		%		%
売 上 高	1,131,764	100.0	1,043,873	100.0	△87,891	92
売 上 原 価	812,492	71.8	764,405	73.2	△48,087	94
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	259,974	23.0	237,288	22.7	△22,686	91
そ の 他 の 損 益 (△ 損 失)	21	0.0	△1,026	△0.2	△1,047	—
営 業 利 益	59,319	5.2	41,154	3.9	△18,165	69
金 融 収 益	1,689	0.2	835	0.1	△854	49
金 融 費 用	2,845	0.2	1,173	0.0	△1,672	41
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	6,114	0.5	7,761	0.7	1,647	127
税 引 前 四 半 期 純 利 益	64,277	5.7	48,577	4.7	△15,700	76
法 人 所 得 税 費 用	12,656	1.1	16,907	1.7	4,251	134
四 半 期 純 利 益	51,621	4.6	31,670	3.0	△19,951	61
(四 半 期 純 利 益 の 帰 属)						
親 会 社 株 主 持 分	48,476	4.3	30,346	2.9	△18,130	63
非 支 配 持 分	3,145	0.3	1,324	0.1	△1,821	42

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科 目	前年度 第2四半期 A 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日	当年度 第2四半期 B 自 2020年7月 1日 至 2020年9月30日	前年同期比 B - A
四 半 期 純 利 益	51,621	31,670	△19,951
その他の包括利益(△損失) (税効果調整後)			
[四半期純利益に振り替えられることのない項目]			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産の公正価値変動額	9,974	11,734	1,760
持分法によるその他の包括利益	△287	743	1,030
計	9,687	12,477	2,790
[四半期純利益に振り替えられる可能性のある項目]			
在外営業活動体の換算差額	△12,310	△6,316	5,994
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△52	16	68
持分法によるその他の包括利益	△2,689	△1,157	1,532
計	△15,051	△7,457	7,594
合 計	△5,364	5,020	10,384
四 半 期 包 括 利 益	46,257	36,690	△9,567
(四半期包括利益の帰属)			
親 会 社 株 主 持 分	43,863	36,138	△7,725
非 支 配 持 分	2,394	552	△1,842

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度末 A (2020年3月31日)	当年度 第2四半期末 B (2020年9月30日)	前年度末比 B - A
(資 産 の 部)			
流 動 資 産	2,628,033	2,541,677	△86,356
現金及び現金同等物	537,559	642,928	105,369
売 上 債 権	900,430	710,148	△190,282
契 約 資 産	343,637	321,568	△22,069
棚 卸 資 産	693,890	715,689	21,799
そ の 他 の 流 動 資 産	152,517	151,344	△1,173
非 流 動 資 産	1,781,738	1,817,813	36,075
持分法で会計処理されている投資	196,237	194,968	△1,269
そ の 他 の 金 融 資 産	262,367	306,628	44,261
有 形 固 定 資 産	854,382	862,763	8,381
そ の 他 の 非 流 動 資 産	468,752	453,454	△15,298
資 産 計	4,409,771	4,359,490	△50,281
(負 債 の 部)			
流 動 負 債	1,402,665	1,350,205	△52,460
注1. 社債、借入金及びリース負債	133,369	199,692	66,323
買 入 債 務	527,307	438,525	△88,782
そ の 他 の 流 動 負 債	741,989	711,988	△30,001
非 流 動 負 債	468,247	446,713	△21,534
注1. 社債、借入金及びリース負債	243,634	224,527	△19,107
退 職 給 付 に 係 る 負 債	163,240	173,712	10,472
そ の 他 の 非 流 動 負 債	61,373	48,474	△12,899
負 債 計	1,870,912	1,796,918	△73,994
(資 本 の 部)			
親会社株主に帰属する持分	2,429,743	2,455,297	25,554
資 本 金	175,820	175,820	—
資 本 剰 余 金	202,832	202,270	△562
利 益 剰 余 金	2,071,817	2,059,855	△11,962
注2. その他の包括利益(△損失)累計額	△17,802	19,946	37,748
自 己 株 式	△2,924	△2,594	330
非 支 配 持 分	109,116	107,275	△1,841
資 本 計	2,538,859	2,562,572	23,713
負 債 ・ 資 本 計	4,409,771	4,359,490	△50,281

注1. 社債、借入金及びリース負債残高 377,003 424,219 47,216
うちリース負債除く残高 267,008 311,522 44,514

注2. その他の包括利益(△損失)累計額内訳
在外営業活動体の換算差額 △39,519 △35,774 3,745
その他の包括利益を通じて
公正価値で測定する金融資産 21,754 55,703 33,949
キャッシュ・フロー・ヘッジの
公正価値の純変動額 △37 17 54

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前年度第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

科 目							非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	親会社株主 に帰属する 持分合計		
期首残高	175,820	202,834	1,960,466	63,809	△2,983	2,399,946	111,209	2,511,155
会計方針の変更による 累積的影響額			△1,521			△1,521	△7	△1,528
会計方針の変更を反映した 期首残高	175,820	202,834	1,958,945	63,809	△2,983	2,398,425	111,202	2,509,627
四半期包括利益								
四半期純利益			91,253			91,253	7,178	98,431
その他の包括利益(△損失) (税効果調整後)				△25,171		△25,171	△2,815	△27,986
四半期包括利益	—	—	91,253	△25,171	—	66,082	4,363	70,445
利益剰余金への振替			1,521	△1,521		—		—
株主への配当			△55,816			△55,816	△5,094	△60,910
自己株式の取得					△784	△784		△784
自己株式の処分		△844			844	0		0
非支配持分との取引等						—	△925	△925
期末残高	175,820	201,990	1,995,903	37,117	△2,923	2,407,907	109,546	2,517,453

当年度第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

科 目							非支配 持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	親会社株主 に帰属する 持分合計		
期首残高	175,820	202,832	2,071,817	△17,802	△2,924	2,429,743	109,116	2,538,859
四半期包括利益								
四半期純利益			48,231			48,231	3,171	51,402
その他の包括利益(△損失) (税効果調整後)				33,371		33,371	246	33,617
四半期包括利益	—	—	48,231	33,371	—	81,602	3,417	85,019
利益剰余金への振替			△4,377	4,377		—		—
株主への配当			△55,816			△55,816	△5,356	△61,172
自己株式の取得					△366	△366		△366
自己株式の処分		△696			696	0		0
非支配持分との取引等		134				134	98	232
期末残高	175,820	202,270	2,059,855	19,946	△2,594	2,455,297	107,275	2,562,572

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年度 第2四半期累計 A 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当年度 第2四半期累計 B 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	前年同期比 B - A
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 四半期純利益	98,431	51,402	△47,029
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整			
(1) 減価償却費及び償却費等	98,329	103,412	5,083
(2) 売上債権の減少	163,109	192,653	29,544
(3) 契約資産の減少(△増加)	△60,051	21,994	82,045
(4) 棚卸資産の減少(△増加)	△6,927	△19,761	△12,834
(5) 買入債務の増加(△減少)	△50,058	△89,907	△39,849
(6) その他	△28,419	△2,848	25,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,414	256,945	42,531
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得	△95,978	△92,502	3,476
2. 固定資産売却収入	2,438	2,167	△271
3. 有価証券等の取得(取得時現金控除後)	△16,373	△12,214	4,159
4. 有価証券等の売却収入(売却時現金控除後)	6,855	4,046	△2,809
5. その他	△12,606	△9,354	3,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,664	△107,857	7,807
I + II フリー・キャッシュ・フロー	98,750	149,088	50,338
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 社債及び長期借入金による調達及び返済	△29,462	△10,164	19,298
2. 短期借入金の増加	29,564	54,663	25,099
3. リース負債の返済	△26,183	△27,760	△1,577
4. 配当金の支払	△55,816	△55,816	0
5. 自己株式の取得	△784	△366	418
6. 自己株式の処分	0	0	0
7. その他	△4,670	△6,040	△1,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,351	△45,483	41,868
IV 為替変動によるキャッシュへの影響額	△11,453	1,764	13,217
V 現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△54	105,369	105,423
VI 現金及び現金同等物の期首残高	514,224	537,559	23,335
VII 現金及び現金同等物の期末残高	514,170	642,928	128,758

(5) セグメント情報

① 第2四半期連結累計期間

(事業の種類別セグメント情報)

(単位:百万円)

	前年度 第2四半期累計 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日		当年度 第2四半期累計 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日		増減		前年 同期比 C/A(%)
	売上高 A	営業損益 B	売上高 C	営業損益 D	売上高 C-A	営業損益 D-B	
重電システム	592,110	20,465	564,731	26,277	△27,379	5,812	95
産業メカトロニクス	686,266	41,272	548,607	1,766	△137,659	△39,506	80
情報通信システム	199,025	4,705	165,545	4,866	△33,480	161	83
電子デバイス	103,149	1,039	100,583	5,802	△2,566	4,763	98
家庭電器	581,762	53,206	503,731	35,588	△78,031	△17,618	87
その他	316,245	9,521	272,432	1,971	△43,813	△7,550	86
計	2,478,557	130,208	2,155,629	76,270	△322,928	△53,938	87
消去又は全社	△296,029	△15,978	△253,605	△14,916	42,424	1,062	—
連結合計	2,182,528	114,230	1,902,024	61,354	△280,504	△52,876	87

(注) 各部門の売上高には、セグメント間の内部売上高(振替高)を含めて表示しています。

(向先地域別売上高)

(単位:百万円)

	前年度 第2四半期 累計 A	比率(%)	当年度 第2四半期 累計 B	比率(%)	増減 B-A	前年 同期比 B/A(%)
日本	1,216,657	55.7	1,080,338	56.8	△136,319	89
北米	229,758	10.6	175,435	9.2	△54,323	76
アジア	469,759	21.5	433,734	22.8	△36,025	92
中国	221,730	10.2	234,923	12.4	13,193	106
欧州	236,062	10.8	184,272	9.7	△51,790	78
その他	30,292	1.4	28,245	1.5	△2,047	93
海外	965,871	44.3	821,686	43.2	△144,185	85
連結合計	2,182,528	100.0	1,902,024	100.0	△280,504	87

(注) 向先地域別売上高は、顧客の所在地別に表示しています。

②第2四半期連結会計期間

(事業の種類別セグメント情報)

(単位:百万円)

	前年度 第2四半期 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日		当年度 第2四半期 自 2020年7月 1日 至 2020年9月30日		増減		前年 同期比 C/A(%)
	売上高 A	営業損益 B	売上高 C	営業損益 D	売上高 C-A	営業損益 D-B	
重電システム	316,277	11,269	298,976	7,631	△17,301	△3,638	95
産業メカトロニクス	353,952	20,090	312,376	5,180	△41,576	△14,910	88
情報通信システム	112,616	3,339	102,260	5,429	△10,356	2,090	91
電子デバイス	52,195	442	50,872	2,712	△1,323	2,270	97
家庭電器	285,758	22,018	266,333	22,036	△19,425	18	93
その他	166,722	7,370	147,008	3,324	△19,714	△4,046	88
計	1,287,520	64,528	1,177,825	46,312	△109,695	△18,216	91
消去又は全社	△155,756	△5,209	△133,952	△5,158	21,804	51	—
連結合計	1,131,764	59,319	1,043,873	41,154	△87,891	△18,165	92

(注) 各部門の売上高には、セグメント間の内部売上高(振替高)を含めて表示しています。

(向先地域別売上高)

(単位:百万円)

	前年度 第2四半期 A		当年度 第2四半期 B		増減 B-A	前年 同期比 B/A(%)
	比率(%)	比率(%)				
日本	654,200	57.8	600,656	57.5	△53,544	92
北米	111,758	9.9	101,081	9.7	△10,677	90
アジア	238,947	21.1	227,596	21.8	△11,351	95
中国	112,772	10.0	118,680	11.4	5,908	105
欧州	110,796	9.8	98,685	9.5	△12,111	89
その他	16,063	1.4	15,855	1.5	△208	99
海外	477,564	42.2	443,217	42.5	△34,347	93
連結合計	1,131,764	100.0	1,043,873	100.0	△87,891	92

(注) 向先地域別売上高は、顧客の所在地別に表示しています。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社株主に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月29日
上場取引所 東

上場会社名 三菱電機株式会社
 コード番号 6503 URL <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 杉山 武史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 阿部 恵成 TEL 03-3218-2332
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 四半期純利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,902,024	△12.9	61,354	△46.3	75,686	△39.0	48,231	△47.1	85,019	20.7
2020年3月期第2四半期	2,182,528	0.6	114,230	△9.3	124,022	△12.2	91,253	△10.8	70,445	△34.5

	1株当たり親会社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後 1株当たり親会社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.48	22.48
2020年3月期第2四半期	42.54	42.54

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計(純資産)	親会社株主に 帰属する持分	親会社株主 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,359,490	2,562,572	2,455,297	56.3
2020年3月期	4,409,771	2,538,859	2,429,743	55.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	26.00	40.00
2021年3月期	—	10.00			

(注) 当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、2021年3月期において、現時点では基準日における配当予想額は未定であります。配当予想を決定しましたら速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,050,000	△9.2	150,000	△42.2	175,000	△37.9	120,000	△45.9	55.94	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,147,201,551株	2020年3月期	2,147,201,551株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,915,551株	2020年3月期	2,094,335株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,145,209,484株	2020年3月期2Q	2,145,081,054株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあり得ます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び「将来見通しに関するリスク情報」をご覧ください。

3. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年度第2四半期累計期間の概況（連結）

① 全般の概況

当四半期累計期間（2020年4月から2020年9月までの6ヵ月）の景気は、中国では、景気対策の効果もあって公共投資を中心に固定資産投資が持ち直すなど、緩やかに回復しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響が継続している日本、米国、欧州などでは、経済活動の再開などにより景気は持ち直しつつあるものの回復には至らず、総じてみれば引き続き経営環境は厳しい状況となりました。

この結果、当四半期累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

＜連結＞売上高	1兆9,020億円	（前年同期比	87%）
営業利益	613億円	（前年同期比	54%）
税引前四半期純利益	756億円	（前年同期比	61%）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	482億円	（前年同期比	53%）

【売上高】

売上高は、全てのセグメントで減収となり、前年同期比2,805億円減少の1兆9,020億円となりました。重電システム部門では、国内の交通・電力事業などを中心に社会インフラ事業が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた各国の都市開発・建設の停滞により国内・アジアを中心にビルシステム事業が減少しました。産業メカトロニクス部門では、中国を除く全地域での新車販売台数の減少により自動車機器事業が大幅に減少し、国内外での自動車関連、国内の工作機械・建屋関連の需要停滞によりFAシステム事業も減少しました。家庭電器部門では、海外での経済活動の制限や国内外での設備投資の抑制により空調機器などが減少しました。

【営業利益】

営業利益は、重電システム部門、電子デバイス部門、情報通信システム部門で増益となりましたが、産業メカトロニクス部門、家庭電器部門などの減益により、前年同期比528億円減少の613億円となりました。営業利益率は、売上高の減少などにより、前年同期比2.0ポイント悪化の3.2%となりました。

売上原価率は、売上高の減少に伴う操業度低下などによる産業メカトロニクス部門や家庭電器部門の悪化により、前年同期比1.2ポイント悪化しました。販売費及び一般管理費は、経費の抑制などにより前年同期比503億円減少しましたが、売上高比率は0.8ポイント悪化しました。その他の損益は、前年同期比2億円減少し、売上高比率は前年同期並みとなりました。

【税引前四半期純利益】

税引前四半期純利益は、営業利益の減少に対し、為替差損の減少などによる営業外損益の改善があり、前年同期比483億円減少の756億円、売上高比率は4.0%となりました。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税引前四半期純利益の減少などにより、前年同期比430億円減少の482億円、売上高比率は2.5%となりました。

② セグメント別の状況

重電システム		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	5,921億円	5,647億円	95%
	営業利益	204億円	262億円	58億円増
<p>社会インフラ事業の事業環境は、国内の公共事業における防災・減災向けの投資などが堅調に推移しましたが、国内外で発電関連の需要が減少し、新型コロナウイルス感染症の影響を受け国内の鉄道各社の設備投資計画に見直しの動きがみられました。このような状況の中、同事業の受注高は、国内の交通・電力事業などの減少により前年同期を下回りましたが、売上高は国内の交通・電力事業の既受注案件の進捗などにより前年同期を上回りました。</p> <p>ビルシステム事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による市況低迷を受け、各国で都市開発案件の停滞や建設計画の遅延などが発生し、国内外ともに新設・リニューアル事業を中心に需要が減少しました。このような状況の中、同事業は国内・アジアを中心に、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>この結果、部門全体では、売上高は前年同期比95%の5,647億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上案件の変動や費用改善などにより、前年同期比58億円増加の262億円となりました。</p>				
産業メカトロニクス		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	6,862億円	5,486億円	80%
	営業利益	412億円	17億円	395億円減
<p>FAシステム事業の事業環境は、海外を中心に5G関連や半導体関連の需要が拡大したことに加え、海外でのマスク製造の増加に伴う需要などがありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外の自動車関連、国内の工作機械・建屋関連を中心に需要の停滞が続きました。このような状況の中、同事業は受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>自動車機器事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新車販売台数が中国を除く全地域で減少しました。このような状況の中、同事業はモーター・インバーターなどの車両電動化関連製品の販売は増加しましたが、その他の自動車用電装品の減少により、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>この結果、部門全体では、売上高は自動車機器事業の減少を中心に、前年同期比80%の5,486億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比395億円減少の17億円となりました。</p>				
情報通信システム		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	1,990億円	1,655億円	83%
	営業利益	47億円	48億円	1億円増
<p>情報システム・サービス事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、製造業向けを中心にシステム開発案件の延期や中止などがありました。このような状況の中、同事業はシステムインテグレーション事業などの減少により、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>電子システム事業は、防衛システム事業の大口案件の減少などにより、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>この結果、部門全体では、売上高は前年同期比83%の1,655億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上案件の変動などにより、前年同期比1億円増加の48億円となりました。</p>				

電子デバイス		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	1,031億円	1,005億円	98%
	営業利益	10億円	58億円	47億円増
<p>電子デバイス事業の事業環境は、高周波光デバイスにおいて、次世代データセンター関連などの堅調な需要が継続しましたが、パワー半導体については、自動車・産業向けの需要が減速しました。このような状況の中、同事業は通信用光デバイスを中心とした高周波光デバイスは増加しましたが、パワー半導体や液晶の減少などにより、受注高は前年同期を下回り、売上高は前年同期比98%の1,005億円となりました。</p> <p>営業利益は、機種構成の変動や費用改善などにより、前年同期比47億円増加の58億円となりました。</p>				
家庭電器		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	5,817億円	5,037億円	87%
	営業利益	532億円	355億円	176億円減
<p>家庭電器事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出自粛などにより、家庭向け需要が一定程度ありましたが、海外での都市封鎖や経済活動の著しい制限、国内外での設備投資の抑制などにより、国内外の空調機器の需要減少などがありました。このような状況の中、同事業は空調機器の減少などにより、売上高は前年同期比87%の5,037億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比176億円減少の355億円となりました。</p>				
その他		前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	前年同期比
	売上高	3,162億円	2,724億円	86%
	営業利益	95億円	19億円	75億円減
<p>売上高は、資材調達・物流の関係会社でのグループ向けの減少などにより、前年同期比86%の2,724億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比75億円減少の19億円となりました。</p>				

2020年度第2四半期の概況（連結）

① 全般の概況

当四半期（2020年7月から2020年9月までの3ヵ月）の業績は、以下のとおりとなりました。

＜連結＞売上高	1兆438億円	（前年同期比	92%）
営業利益	411億円	（前年同期比	69%）
税引前四半期純利益	485億円	（前年同期比	76%）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	303億円	（前年同期比	63%）

【売上高】

売上高は、全てのセグメントで減収となり、前年同期比878億円減少の1兆438億円となりました。重電システム部門では国内の交通・電力・公共事業などを中心に社会インフラ事業は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響継続により、国内・アジアを中心にビルシステム事業が減少しました。産業メカトロニクス部門では、第1四半期より改善したものの、新車販売台数の減少により自動車機器事業が減少し、また国内外での自動車関連、国内の工作機械・建屋関連の需要停滞継続によりFAシステム事業も減少しました。家庭電器部門では、家庭用空調機器の需要が第1四半期より回復しましたが、海外での経済活動の制限や国内外での設備投資の抑制により業務用空調機器の需要減少が継続し、空調機器が減少しました。

【営業利益】

営業利益は、電子デバイス部門、情報通信システム部門で増益となりましたが、産業メカトロニクス部門、重電システム部門などの減益により、前年同期比181億円減少の411億円となりました。営業利益率は、売上高の減少などにより、前年同期比1.3ポイント悪化の3.9%となりました。

売上原価率は、売上高の減少に伴う操業度低下などによる産業メカトロニクス部門の悪化により、前年同期比1.4ポイント悪化しました。販売費及び一般管理費は、経費の抑制などにより前年同期比226億円減少し、売上高比率は0.3ポイント改善しました。その他の損益は、前年同期比10億円悪化し、売上高比率は0.2ポイント悪化しました。

【税引前四半期純利益】

税引前四半期純利益は、営業利益の減少に対し、為替差損の減少などによる営業外損益の改善があり、前年同期比157億円減少の485億円、売上高比率は4.7%となりました。

【親会社株主に帰属する四半期純利益】

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税引前四半期純利益の減少などにより、前年同期比181億円減少の303億円、売上高比率は2.9%となりました。

② セグメント別の状況

重電システム		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高	3,162億円	2,989億円	95%
	営業利益	112億円	76億円	36億円減

社会インフラ事業の事業環境は、国内の公共事業における防災・減災向けの投資などが堅調に推移しましたが、国内外で発電関連の需要が減少し、新型コロナウイルス感染症の影響を受け国内の鉄道各社の設備投資計画に見直しの動きがみられました。このような状況の中、同事業の受注高は、国内の交通・電力事業などの減少により前年同期を下回りましたが、売上高は国内の交通・電力・公共事業の既受注案件の進捗などにより前年同期を上回りました。

ビルシステム事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による市況低迷を受け、各国で都市開発案件の停滞や建設計画の遅延などが発生し、国内外ともに新設・リニューアル事業を中心に需要が減少しました。このような状況の中、同事業は国内・アジアを中心に、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。

この結果、部門全体では、売上高は前年同期比95%の2,989億円となりました。

営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比36億円減少の76億円となりました。

産業メカトロニクス		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高	3,539億円	3,123億円	88%
	営業利益	200億円	51億円	149億円減
<p>FAシステム事業の事業環境は、海外を中心に5G関連や半導体関連の需要が拡大しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国内外の自動車関連、国内の工作機械・建屋関連を中心に需要の停滞が続きました。このような状況の中、同事業は受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>自動車機器事業の事業環境は、新車販売台数が第1四半期からは増加しましたが、前年同期では、中国で増加したものの、全体では新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。このような状況の中、同事業はモーター・インバーターなどの車両電動化関連製品の販売は増加しましたが、その他の自動車用電装品の減少により受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>この結果、部門全体では、売上高は自動車機器事業の減少を中心に、前年同期比88%の3,123億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比149億円減少の51億円となりました。</p>				
情報通信システム		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高	1,126億円	1,022億円	91%
	営業利益	33億円	54億円	20億円増
<p>情報システム・サービス事業の事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、製造業向けを中心にシステム開発案件の延期や中止などがありました。このような状況の中、同事業はシステムインテグレーション事業などの減少により、受注高・売上高とも前年同期を下回りました。</p> <p>電子システム事業は、受注高は防衛システム事業の大口案件の減少などにより前年同期を下回りましたが、売上高は宇宙システム事業の大口案件の増加により前年同期を上回りました。</p> <p>この結果、部門全体では、売上高は前年同期比91%の1,022億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上案件の変動などにより、前年同期比20億円増加の54億円となりました。</p>				
電子デバイス		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高	521億円	508億円	97%
	営業利益	4億円	27億円	22億円増
<p>電子デバイス事業の事業環境は、高周波光デバイスにおいて、次世代データセンター関連の堅調な需要が継続しましたが、パワー半導体については、産業向けの需要が減速しました。このような状況の中、同事業は通信用光デバイスを中心とした高周波光デバイスは増加しましたが、産業用のパワー半導体や液晶の減少などにより、受注高は前年同期を下回り、売上高は前年同期比97%の508億円となりました。</p> <p>営業利益は、機種構成の変動や費用改善などにより、前年同期比22億円増加の27億円となりました。</p>				
家庭電器		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高	2,857億円	2,663億円	93%
	営業利益	220億円	220億円	前年同期並み
<p>家庭電器事業の事業環境は、家庭用空調機器の需要が第1四半期に比べ回復しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国内外での設備投資の抑制などにより、業務用空調機器の需要減少などがありました。このような状況の中、同事業は空調機器の減少などにより、売上高は前年同期比93%の2,663億円となりました。</p> <p>営業利益は、売上高の減少はありましたが、費用改善などにより、前年同期並みとなりました。</p>				

その他		前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
	売上高		1,667億円	1,470億円
営業利益		73億円	33億円	40億円減

売上高は、資材調達・物流の関係会社でのグループ向けの減少などにより、前年同期比88%の1,470億円となりました。

営業利益は、売上高の減少などにより、前年同期比40億円減少の33億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況に関する分析（連結）

当四半期末の総資産残高は、前年度末比502億円減少の4兆3,594億円となりました。現金及び現金同等物が1,053億円、その他の金融資産が442億円それぞれ増加した一方、売上債権が1,902億円減少したことがその主な要因です。

売上債権の減少は、前年度の売上計上案件の回収や、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少などによるものです。現金及び現金同等物の増加は、新型コロナウイルス感染症の影響による資金収支の悪化に備え、借入の実行により手元流動性を確保したことなどによるものです。

負債の部は、社債、借入金及びリース負債が472億円増加した一方、買入債務が887億円、その他の流動負債が300億円それぞれ減少したこと等から、負債残高は前年度末比739億円減少の1兆7,969億円となりました。なお、リース負債を除く借入金・社債残高は前年度末比445億円増加の3,115億円、借入金比率は7.1%(前年度末比+1.0ポイント)となりました。

資本の部は、配当金の支払い558億円による減少等はありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益482億円の計上及び株価上昇等を背景としたその他の包括利益累計額377億円の増加等により、親会社株主に帰属する持分は前年度末比255億円増加の2兆4,552億円、親会社株主帰属持分比率は56.3%(前年度末比+1.2ポイント)となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析（連結）

当四半期累計期間は、営業活動によるキャッシュ・フローが2,569億円の収入となった一方、投資活動によるキャッシュ・フローが1,078億円の支出となったため、フリー・キャッシュ・フローは1,490億円の収入となりました。これに対し、財務活動によるキャッシュ・フローは454億円の支出となったこと等から、現金及び現金同等物の期末残高は、前年度末比1,053億円増加の6,429億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益の減少等はありませんでしたが、前年度計上の売上債権の回収進捗に加え、当四半期累計期間の売上減少に対して資材・経費等の投入を抑制したこと等により、前年同期比425億円の収入増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券や有形固定資産の取得の減少等により、前年同期比78億円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加や長期借入金の返済の減少等により、前年同期比418億円の支出減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 2020年度(2021年3月期)の通期業績見直し

現時点での2020年度の業績見直しは、新型コロナウイルス感染症の影響継続に伴う景気回復の遅れにより、売上高は減少が見込まれますが、利益は費用削減を中心とした、経営改善諸施策の成果の拡大などにより、前回予想値を上回ることが見込まれるため、2020年7月30日に公表した業績予想値を修正いたします。

なお、各国・地域の新型コロナウイルス感染症の影響継続や再拡大などの状況により、業績見直しを変更する可能性があります。

<2021年3月期通期 連結業績予想値の修正>

<連結>	前回 (7月30日公表)	今回	前回比
売上高	4兆1,000億円	4兆500億円(前年度比91%)	500億円減(99%)
営業利益	1,200億円	1,500億円(前年度比58%)	300億円増(125%)
税引前当期純利益	1,450億円	1,750億円(前年度比62%)	300億円増(121%)
親会社株主に 帰属する当期 純利益	1,000億円	1,200億円(前年度比54%)	200億円増(120%)

今回の業績見直しにおける第3四半期以降の為替条件は、米ドル105円(前回公表から変更無し)、ユーロ120円(前回公表比+5円)、人民元15.0円(前回公表から変更無し)を前提としております。

<将来見直しに関するリスク情報>

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑤ 資金調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 環境に関連する規制や問題
- ⑧ 製品やサービスの欠陥や瑕疵等
- ⑨ 訴訟その他の法的手続き
- ⑩ 急激な技術変化や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑪ 事業構造改革
- ⑫ 情報セキュリティ
- ⑬ 地震・台風・津波・火災等の大規模災害
- ⑭ テロ・戦争、感染症の流行等による社会的・政治的混乱
- ⑮ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項

4. 補足情報

2020年10月29日
三菱電機株式会社

2020年度 第2四半期 連結決算について

- (1) 業績概要
- (2) 部門別売上高・営業損益
- (3) 部門別海外売上高
- (4) 部門別受注高
- (5) 為替レート 及び 為替変動の売上高への影響額
- (6) 設備投資
- (7) 有形固定資産減価償却費等
- (8) 研究開発費

<ご参考>

- (1) 2020年度四半期別業績
- (2) 2020年度四半期別部門別売上高・営業損益

(1) 業績概要

<連結>

()内は前年度比・前年同期比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期計画
売上高	21,825 (101)	44,625 (99)	19,020 (87)	40,500 (91)
営業利益	1,142 (91)	2,596 (89)	613 (54)	1,500 (58)
税引前当期 (四半期)純利益	1,240 (88)	2,819 (89)	756 (61)	1,750 (62)
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	912 (89)	2,218 (98)	482 (53)	1,200 (54)

(2) 部門別売上高・営業損益

()内は前年度比・前年同期比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度	
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期計画
重電システム	売上高 5,921 (104)	13,073 (101)	5,647 (95)	12,800 (98)
	営業損益 204 (131)	823 (100)	262 (128)	870 (106)
産業メカトロニクス	売上高 6,862 (94)	13,494 (92)	5,486 (80)	11,500 (85)
	営業損益 412 (53)	689 (48)	17 (4)	180 (26)
情報通信システム	売上高 1,990 (107)	4,555 (107)	1,655 (83)	4,000 (88)
	営業損益 47 (188)	264 (216)	48 (103)	180 (68)
電子デバイス	売上高 1,031 (101)	2,087 (104)	1,005 (98)	2,100 (101)
	営業損益 10 (82)	87 (603)	58 (558)	0 (—)
家庭電器	売上高 5,817 (104)	10,902 (102)	5,037 (87)	9,700 (89)
	営業損益 532 (158)	782 (132)	355 (67)	450 (58)
その他	売上高 3,162 (96)	6,596 (97)	2,724 (86)	5,900 (89)
	営業損益 95 (92)	260 (108)	19 (21)	130 (50)
計	売上高 24,785 (100)	50,710 (99)	21,556 (87)	46,000 (91)
	営業損益 1,302 (92)	2,906 (90)	762 (59)	1,810 (62)
消去又は 全社	売上高 △2,960	△6,085	△2,536	△5,500
	営業損益 △159	△310	△149	△310
連結合計	売上高 21,825 (101)	44,625 (99)	19,020 (87)	40,500 (91)
	営業損益 1,142 (91)	2,596 (89)	613 (54)	1,500 (58)

<参考> 新型コロナウイルス感染症の2020年度第2四半期累計期間への影響は、売上高は約2,800億円の減収、営業利益は約600億円の減益と分析しています。

(3) 部門別海外売上高

()内は前年度比・前年同期比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
重電システム	1,957 (101)	3,967 (96)	1,678 (86)
産業メカトロニクス	3,923 (91)	7,541 (90)	3,182 (81)
情報通信システム	53 (111)	132 (94)	40 (77)
電子デバイス	529 (94)	1,085 (101)	585 (111)
家庭電器	3,114 (102)	5,633 (99)	2,659 (85)
その他	80 (91)	160 (97)	70 (88)
連結合計	9,658 (96)	18,521 (94)	8,216 (85)
海外売上高比率	44.3%	41.5%	43.2%

(4) 部門別受注高

<連結>

()内は前年度比・前年同期比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
重電システム	6,934 (105)	13,488 (104)	6,033 (87)
産業メカトロニクス	6,823 (95)	13,580 (95)	5,589 (82)
情報通信システム	1,895 (113)	4,488 (107)	1,552 (82)
電子デバイス	1,066 (106)	2,216 (111)	858 (80)

(注)「家庭電器」「その他」については受注生産形態をとらない製品が多く、受注規模を金額で示していません。

(5) 為替レート及び為替変動の売上高への影響額

		2019年度		2020年度	
		第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	第3,4四半期計画
期中平均 レート	米ドル	109円	109円	106円	105円
	ユーロ	121円	121円	122円	120円
	人民元	15.6円	15.6円	15.2円	15.0円
為替変動の 売上高への 影響額	連結	売上減 約350億円	売上減 約620億円	売上減 約150億円	/
	内米ドル	約40億円減	約90億円減	約50億円減	
	内ユーロ	約130億円減	約200億円減	約10億円増	
	内人民元	約100億円減	約170億円減	約50億円減	

(6) 設備投資 ()内は前年度比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度	
	通期	(75)	通期計画	(123)
重電システム	264	(75)	325	(123)
産業メカトロニクス	968	(98)	415	(43)
情報通信システム	195	(79)	160	(82)
電子デバイス	322	(58)	160	(50)
家庭電器	344	(90)	220	(64)
その他	158	(251)	60	(38)
共通	91	(88)	160	(176)
連結合計	2,342	(87)	1,500	(64)

(注) 上記には、不動産の賃借等を含んでいません。

(7) 有形固定資産減価償却費等 ()内は前年度比・前年同期比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期計画
連結	682 (98)	1,496 (97)	707 (104)	1,600 (107)

(注) 上記には、不動産の賃借等を含んでいません。

(8) 研究開発費 ()内は前年度比 単位:億円、%

	2019年度		2020年度	
	通期	(97)	通期計画	(92)
重電システム	351	(101)	/	
産業メカトロニクス	674	(95)		
情報通信システム	134	(88)		
電子デバイス	125	(89)		
家庭電器	449	(103)		
その他・共通	332	(98)		
連結合計	2,068	(97)	1,900	(92)
売上高比	4.6		4.7	

<ご参考>

(1) 2020年度四半期別業績

<連結>

()内は前年同期比 単位:億円、%

	2019年度			2020年度		
	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)
売上高	10,507 (100)	11,317 (101)	21,825 (101)	8,581 (82)	10,438 (92)	19,020 (87)
営業利益	549 (89)	593 (92)	1,142 (91)	202 (37)	411 (69)	613 (54)
税引前四半期純利益	597 (87)	642 (89)	1,240 (88)	271 (45)	485 (76)	756 (61)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	427 (90)	484 (89)	912 (89)	178 (42)	303 (63)	482 (53)

(2) 2020年度四半期別部門別売上高・営業損益

()内は前年同期比 単位:億円、%

	2019年度			2020年度		
	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)
重電システム	売上高 2,758 (103)	3,162 (105)	5,921 (104)	2,657 (96)	2,989 (95)	5,647 (95)
	営業損益 91 (154)	112 (118)	204 (131)	186 (203)	76 (68)	262 (128)
産業メカトロニクス	売上高 3,323 (92)	3,539 (96)	6,862 (94)	2,362 (71)	3,123 (88)	5,486 (80)
	営業損益 211 (47)	200 (61)	412 (53)	△34 (－)	51 (26)	17 (4)
情報通信システム	売上高 864 (108)	1,126 (105)	1,990 (107)	632 (73)	1,022 (91)	1,655 (83)
	営業損益 13 (－)	33 (77)	47 (188)	△5 (－)	54 (163)	48 (103)
電子デバイス	売上高 509 (99)	521 (103)	1,031 (101)	497 (98)	508 (97)	1,005 (98)
	営業損益 5 (40)	4 (－)	10 (82)	30 (518)	27 (614)	58 (558)
家庭電器	売上高 2,960 (106)	2,857 (103)	5,817 (104)	2,373 (80)	2,663 (93)	5,037 (87)
	営業損益 311 (156)	220 (162)	532 (158)	135 (43)	220 (100)	355 (67)
その他	売上高 1,495 (96)	1,667 (97)	3,162 (96)	1,254 (84)	1,470 (88)	2,724 (86)
	営業損益 21 (185)	73 (80)	95 (92)	△13 (－)	33 (45)	19 (21)
計	売上高 11,910 (100)	12,875 (101)	24,785 (100)	9,778 (82)	11,778 (91)	21,556 (87)
	営業損益 656 (92)	645 (93)	1,302 (92)	299 (46)	463 (72)	762 (59)
消去又は 全社	売上高 △1,402	△1,557	△2,960	△1,196	△1,339	△2,536
	営業損益 △107	△52	△159	△97	△51	△149
連結合計	売上高 10,507 (100)	11,317 (101)	21,825 (101)	8,581 (82)	10,438 (92)	19,020 (87)
	営業損益 549 (89)	593 (92)	1,142 (91)	202 (37)	411 (69)	613 (54)